

# 2級土木施工管理士受験対策講座



**一般社団法人  
全国基礎工事業団体連合会**

活動期間： 2020年4月～2020年9月

発表日： 令和2年10月22日

# 団体の概要

名称：一般社団法人 全国基礎工事業団体連合会（略称：全基連）

代表者：会長 梅田 巖

許可業種：とび・土工工事業

所 管：国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課

経 緯

昭和49年7月 中小企業等協同組合法第27条の2第1項により建設大臣の許可を受け、全国基礎工業協同組合連合会を設立（建設省東計振第224号）

平成28年4月 一般社団法人 全国基礎工事業団体連合会を設立

出資金

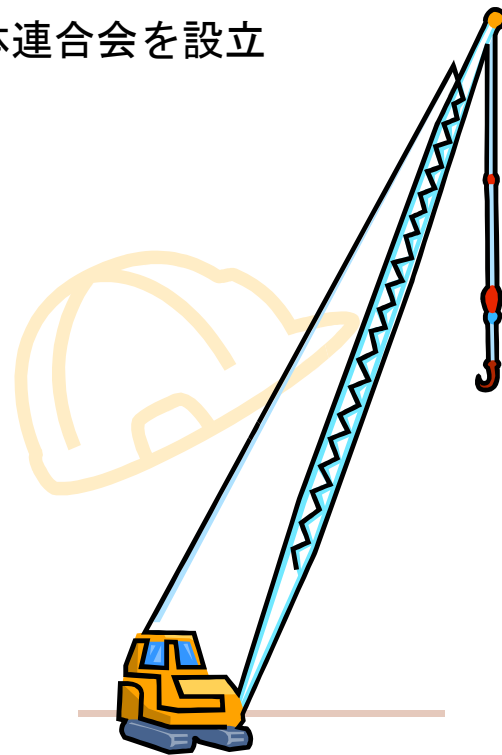
12,100,000円（平成31年4月1日現在）

組 織

本部 — 総会 — 理事会

ブロック組織

1. 北海道基礎工業協同組合
2. 東北基礎工業協同組合
3. 東日本基礎工業協同組合
4. 近畿基礎工業協同組合
5. 中四国基礎工業協同組合
6. 九州基礎工業協同組合
7. 沖縄基礎工業協同組合



# 連合会事業

## (1) 経営戦略化事業

- 情報化の推進と活用
- 建設重機団体保険制度の加入促進
- 外国人労働者受入れ事業

## (2) 取引改善に関する事業

- 「適正取引」のための行政との同調

## (3) 人材育成・能力向上事業

- 基礎杭溶接管理技術者の育成
- 車両系建設機械（基礎工事用、整地・運搬・積込・掘削用）運転者の定期安全衛生教育
- 登録基礎工基幹技能者の育成・講習会
- 鋼管杭施工管理技術者育成講習会
- 各種特別教育等

- 優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）  
及び建設ジュニアマスターの推せん
- 建設事業関係功労者国土交通大臣顕彰

#### （４） 図書編集発行事業

- 基礎杭溶接管理技術者教本
- 車両系建設機械運転者教本
- 埋込み杭施工指針
- 積算歩掛参考資料

#### （５） 福祉・厚生事業

#### （６） 組織の強化事業

- “組合だより” の発行

#### （７） 安全管理活動促進事業

#### （８） よろず相談コーナー

## 活動内容

2013年より当講座を開始。2015年より通信講座を開始。本年で7回目になる。

土木施工管理技士資格は元請との打合せに大変有効であり、育成に連合会として力を入れている。講習は半年で8回（「開催案内日程」参照）に亘り、過去問題と小論文は品質・安全・環境の3分野を受講生に記述させ、講師の添削と面談指導の下、実施している。受講生は、座学は20名、通信教育は10名とし、4人の講師が担当。国家試験合格率は45%となっている。

創意工夫として、小論文の完成に当たり受講生1人3分野を記述させ、講師との実務の対話による個人指導を重視している。

# 2020年度 2級土木施工管理技士 受験対策講座

## 日程表

回数	講習日2020年	講習内容	講師
1	4月19日	一般土木	山下
2	5月10日	専門土木	山下
3	6月7日	砂防、コンクリート舗装、鉄道、 地下構造物等（専門土木）	山下
4	7月5日	法規	赤松
5	7月26日	共通工学、施工管理	谷本
6	8月9日	施工管理、実施（経験論文以外）	谷本
7	8月30日	経験論文面談、総合学習 ①	谷本、山下、赤松、幸保
8	9月13日	経験論文面談、総合学習 ②	谷本、山下、赤松、幸保

### 使用テキスト

2級土木施工 学科・実地試験〔種別：土木〕過去問題集

# 座学募集

2020年2月10日

組合員 各位

## 2級土木施工管理技士勉強会のご案内

— 座学・通信教育講座 —

東日本基礎工業協同組合

事務局

TEL 03-3614-9111

拝啓 日頃は組合事業にご協力下さり有難うございます。

さて、題記「2級土木施工管理技士」の勉強会を下記要領にて開催したく、ご案内申し上げます。

記

**期 間** 2020年4月～9月の日曜日の計8回

参加者は**必ず出席出来る方**とする。欠席の場合は自宅自習と講師陣  
添削指導にて対応とします。**1社2名限定、再受講はご遠慮下さい**

**場 所** 丸泰土木(株)2階研修室 (江戸川区北葛西3-5-17)

**受講料** 2万円(8回) / 人

**内 容** 過去問題集と論文作成要領

**講 師** 山下啓明、谷本静夫、赤松由道(1級土木施工管理技士)、  
幸保英樹(2級土木施工管理技士)

(注) 詳細は別添資料(日程表)をご参照下さい。

尚、国家試験(後期)の願書提出は7月中旬迄です  
ので各自願書購入・提出を忘れないようお願い致します。

# 成果：小論文（品質管理・安全管理・環境管理の3題）

## 例：品質管理

【問題】 あなたが経験した土木工事の現場において、工夫した品質管理又は工夫した工程管理のうちから一つの工事を選び、次の〔設問1〕、〔設問2〕に答えなさい。

〔設問1〕 あなたが経験した土木工事に関し、次の事項について明確に記述しなさい。

(1) 工事名

工事名	ふなばし三番瀬海浜公園改修基礎工事
-----	-------------------

(2) 工事の内容

①	発注者名	金沢 田中JV
②	工事場所	千葉県船橋市潮見町40
③	工期	平成28年5月23日～平成28年6月24日
④	主な工種	杭基礎工
⑤	施工量	PHC杭 $\phi 700$ $L=44m$ 7set $\phi 500$ $L=44m$ 24set

(3) 工事現場における施工管理上のあなたの立場

立場	工事主任
----	------

〔設問2〕 上記工事で、実施した「現場で工夫した品質管理」又は「現場で工夫した工程管理」のいずれかを選び、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

(1) 特に留意した技術的課題

本工事はふなばし三番瀬海浜公園改修工事における屋敷子杭基礎工事を行うものでそれに伴い長さ44mのPHC杭をD木の杭打機50tク拉斯によるプレリング拡大根固め工法にて打設するものである。

施工にあたり本工事は杭頭レベル高さが工程管理値±100mmとなっており砂質地盤における掘削孔崩壊による杭打設不具合での杭高止まり等に関する事を品質管理の技術的な課題とした。

(2) 技術的課題を解決するために検討した項目と検討理由及び検討内容

掘削孔崩壊により杭打設不具合での杭高止まりに関する品質を不確保するために作業班にて次の検討をした。

(1) 当現場の杭長は44mと長尺杭のために掘削時に少しの傾斜で穴曲がりが発生しその後の積度にも影響してくるのでここでは掘削時の金直石確認方法を検討した。

(2) 当現場は海浜公園内に有り広大な海が近く掘削孔への水の回り込みによるボウリング現象や掘削時の粘土によるヒートンク等により掘削孔の崩壊。その後のセメントミルク注入杭打設後のセメントミルク逸脱等が多々考えられるためにここでは掘削液の使用と掘削スピード等の検討をした。

(3) 技術的課題に対して現場で実施した対応処置

検討の結果次の事を実施した。

(1) 掘削前に専任者にてトランシット2台により直前二方向から常に掘削完了まで金直石確認と同時に三段掘りスクラップ器の設置時にマーキングをしてリター位置を管理した。

(2) 掘削時の掘削スピードを落としベントナイト溶液を水37%にて圧送し上下反復しながら時間をかけ掘削を行った。以上の事により孔壁も傷まれセメントミルク逸脱も無く高止まり等も無く完工した。



# 活動状況写真

